

# 平成 27 年度 やって来ました！ケーススタディ。

ケース トリます くん



ケーススタディの発表に向けて、

- 1・**現場の看護実践**：現場で実施してください。  
(患者選定・看護計画立案・実施・評価)
- 2・上記1は、**1月12日までに終了**してください。

日程	担当者	備考
<p>①対象者説明会</p> <p><b>患者選定・看護展開</b></p> <p>学習段階に応じたテーマに沿って課題をクリアする</p> <p>1年目：患者の全体像を把握</p> <p>2年目：チーム医療</p> <p>3年目：退院後自宅訪問</p> <p>1月12日迄に看護展開を終える</p> <p>事例数は問わない</p>	<p>山崎看護部長 龍崎</p>	<p>内容①看護過程について</p> <p>②発表までのスケジュール</p> <p><b>現場の看護過程を サポートする看護師 = 全員</b></p> <p>◆看護計画立案：対象者</p> <p>◆実施：チーム全員</p> <p>◆評価及び修正：対象者</p> <p><b>☆教育委員・指導担当は 教育の立場から積極的に関わる</b></p>
<p><b>☆事前提出 期限☆</b></p> <p><b>1月12日(火) 12時厳守</b></p>	<p>提出先：龍崎</p>	<p>専用用紙</p> <p>手書きも可</p>
<p>②ケースまとめ(第1回)</p> <p>はじめに・事例紹介</p> <p>1月16日(土)16時～</p>	<p>参加者：対象者</p>	<p>・進行状況確認</p> <p>・原稿づくり</p> <p><b>指導監修：部長</b></p> <p><b>☆論文提出： 2月20日(金) 17時</b></p>
<p>③ケースまとめ(第2回)</p> <p>看護の実際・結果</p> <p>1月30日(土)16時～</p>	<p>参加者：対象者</p>	
<p>④ケースまとめ(第3回)</p> <p>考察・おわりに</p> <p>2月6日(土)17:30～</p>	<p>参加者：対象者</p>	
<p>⑤ケースまとめ(第4回)</p> <p>最終作業</p> <p>2月13日(土)16時～</p>	<p>参加者：対象者</p>	
<p>⑥ケース発表会</p> <p>2月27日(土)17時～19時</p>	<p>参加者： 対象者・担当者</p>	
<p>⑦ケーススタディ 振り返り 講評</p>	<p>対象者 担当者・委員</p>	

# ケーススタディ さらに追加で

## 1) 対象者

部署	1年目	2年目	3年目
5F		岸・坂口	杉村
4F	川畑	澤田・安永	
3F		横田・細川	
外来			

## 2) 対象期間

- 看護展開：現時点 ～ 平成28年 1月12日迄
- 論文作成：平成28年1月16日 ～ 2月20日

## 3) 提出物

- 事前提出用紙：平成27年1月12日 12時締切
- 論文：平成27年2月20日 17時締切
- 自宅訪問申請書：3年目対象者のみ 自宅訪問前に提出

## 4) 発表方法

- 事前配布：プログラム・事例紹介
- 各自準備：各種資料（スライド資料・他）発表に必要なもの
- 発表原稿：提出不要 必要であれば各自準備
- 発表時間：約7分を予定（今後変更有）
- 部署委員からの振り返りコメント：教育委員会から関わりを通じて

## 5) その他

- 事例は、入院から退院まで一貫して受け持つこと。
- 事例はいくつ展開しても構いませんが、部署の教育委員に報告すること。
- 提出期限は、厳守。
- 看護展開は、業務の一環であることを意識する。
- 部署やチームで看護展開をフォローし、積極的に実践、評価に結び付ける。
- 「ほうれんそう」の徹底。



「現場で」「みんなで」「あせらず」看護師としての本来の生業を皆で「たのしめる」ケースとなるよう、「力みすぎず」に頑張りましょう。

平成27年9月19日 看護教育委員会